

リオ+20「行動的枠組みとフォローアップ」26項目と愛知ターゲットの関連図（2012.8.1暫定）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
(*)「生物多様性」の言及のあるもの	普及啓発	各種計画取組	補助金奨励措置	消費と生産	生息地の破壊	過剰漁業	一次産業	化学汚染	外来種	生態系保護	保護地域	種の保全	遺伝的多様性	生態系サービス	復元と気候変動	ABS	参加型戦略	伝統的知識	知識技術改善	資金拡大
1 貧困撲滅	○			(○)										(○)				(○)		
2 食糧安全保障、栄養、持続可能な農業 (*)	(○)				○	○	○						○	○						
3 水と衛生								○						○						
4 エネルギー							(○)							(○)						
5 持続可能なツーリズム (*)	○																	(○)		
6 持続可能な移送		○	(○)																	
7 持続可能な都市と人間居住	○	○																		
8 健康と人口	(○)																			
9 フルで生産的な雇用、万人のためのディーセントワークと社会保障の推進							○													(○)
10 海洋と海 (*)	○		○			○		○	○		○									
11 小島嶼開発途上国										(○)	(○)									
12 最貧国																				
13 内陸開発途上国																				
14 アフリカ																				(○)
15 地域的取り組み																				
16 災害リスクの低減														(○)						
17 気候変動															(○)					
18 森林					○		○													
19 生物多様性 (*)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20 砂漠化、土地劣化と干ばつ (*)															○					○
21 山岳 (*)							○						(○)		○					
22 化学物質と廃棄物								○												
23 持続可能な消費と生産			○	○																
24 探掘					○			○												
25 教育	○																			
26 ジェンダー平等と女性のエンパワメント																	(○)		(○)	
その他の項目																				
17	リオ条約重要性の確認																			
30	多くの人、特に貧困層の暮らし、経済的、社会的、物質的ウェルビーイング、文化遺産はエコシステムに深く直接的に関係																			
39	惑星地球とそのエコシステムは我々の故郷であり「母なる地球」は多くの国や地域で用いられる共通の表現である。持続可能性の推進の文脈で自然の権利を掲げる国もある。現在と未来世代の経済、社会、環境の適切なバランスを達成するためには自然との共生を推進することが必要である																			
40	人類が自然と共生して暮らすことを導く持続可能な開発へのホリスティックで統合されたアプローチを求める																			
41	自然と文化の多様性。すべての文明文化が持続可能性に寄与しうる。																			
56	各国が持つ自然資源への国家主権を尊重																			
60	持続可能な開発のためには自然資源の持続可能な利用が必要																			
61	持続可能な生産と消費パターン推進のため生物多様性とエコシステムの保全と持続可能な利用、自然の復元などを推進																			
89	多国間環境協定の重要性： リオ条約を含む																			
275	研究、技術アセスメントにおける国際、地域、国家の能力強化の重要性特に生物多様性や健康や他の予せめ結末への予測不能な府の影響をもたらしかねない新しい技術の早急な開発や転換において、を認識する																			
SDGs	(これまでの議論も含み) 「生物多様性」という言葉の言及無し																			